

2. 西濃圏域 1市2町の概要

2. 西濃圏域 1市2町の概要

2-1. 1市2町の概要

(1) 位置と地勢

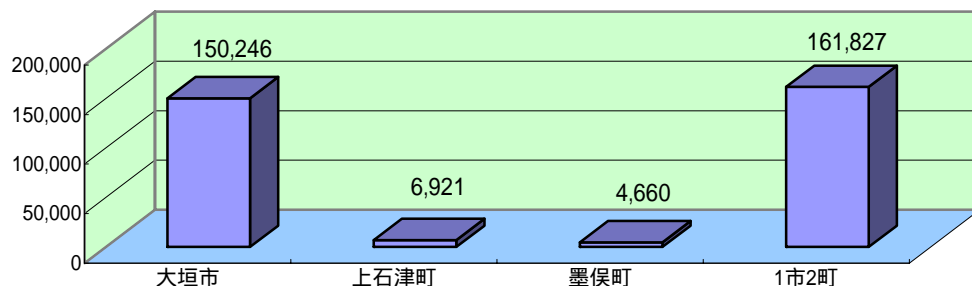
- ・1市2町は、岐阜県の西南部に位置し、面積は206.52 k m²で県土の1.9%を占めています。地勢的には、西に伊吹山や養老山地を望み、揖斐川、長良川及び木曾川の三川とその支流によってかん養された肥沃な濃尾平野を中心に圏域が形成されています。
- ・交通面では、わが国の東西軸の大動脈である名神高速道路やJ R東海道新幹線、J R東海道本線、国道21号が横断し、南北には近鉄養老線や樽見鉄道、国道258号などが縦断して基幹交通網を形成しています。
- ・本地域は、大正期以降、豊かな地下水と広域交通の便に恵まれ、繊維工業、化学工業、窯業土石などの製品製造業をはじめとする製造業等を中心に県下の工業集積地域として発展してきました。

(2) 人口・産業構造

人口

【総人口】

- ・平成12年の1市2町の人口は約16万人で、県全体の7.7%を占めています。
- ・昭和60年の人口を1.0として人口の伸び率をみると、1市2町は、平成12年において1.02倍であり、人口増は停滞傾向を示し、県全体の1.04倍を僅かに下回っています。その大きな要因としては、上石津町(0.92)、墨俣町(0.89)の人口が年々減少しているため、人口増を停滞傾向にとどめていると考えられます。



資料:平成12年国勢調査

図 1市2町の人口

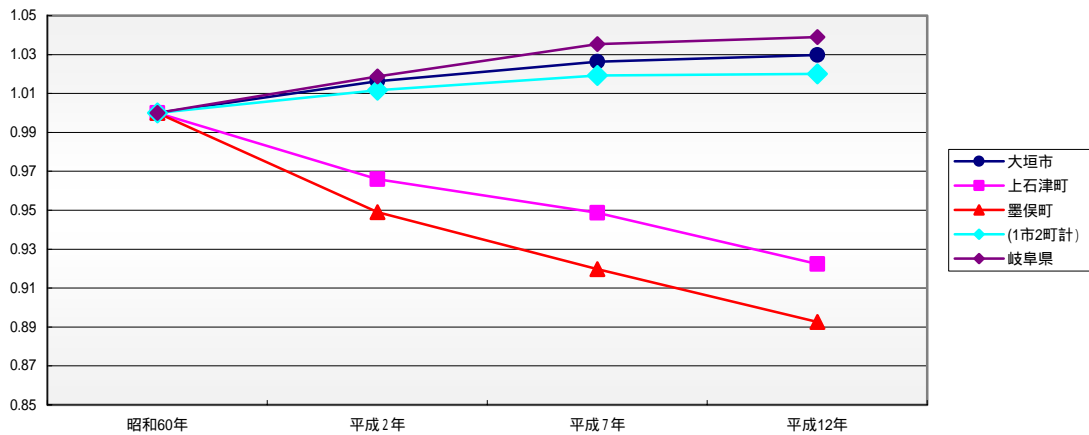
表 1 市 2 町の人口推移

単位:人

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
大垣市	145,910	148,281	149,759	150,246
上石津町	7,503	7,247	7,118	6,921
墨俣町	5,221	4,955	4,802	4,660
(1 市 2 町計)	158,634	160,483	161,679	161,827
岐阜県	2,028,536	2,066,569	2,100,315	2,107,700

資料:国勢調査

昭和 60 年の人口を 1 とした伸び率

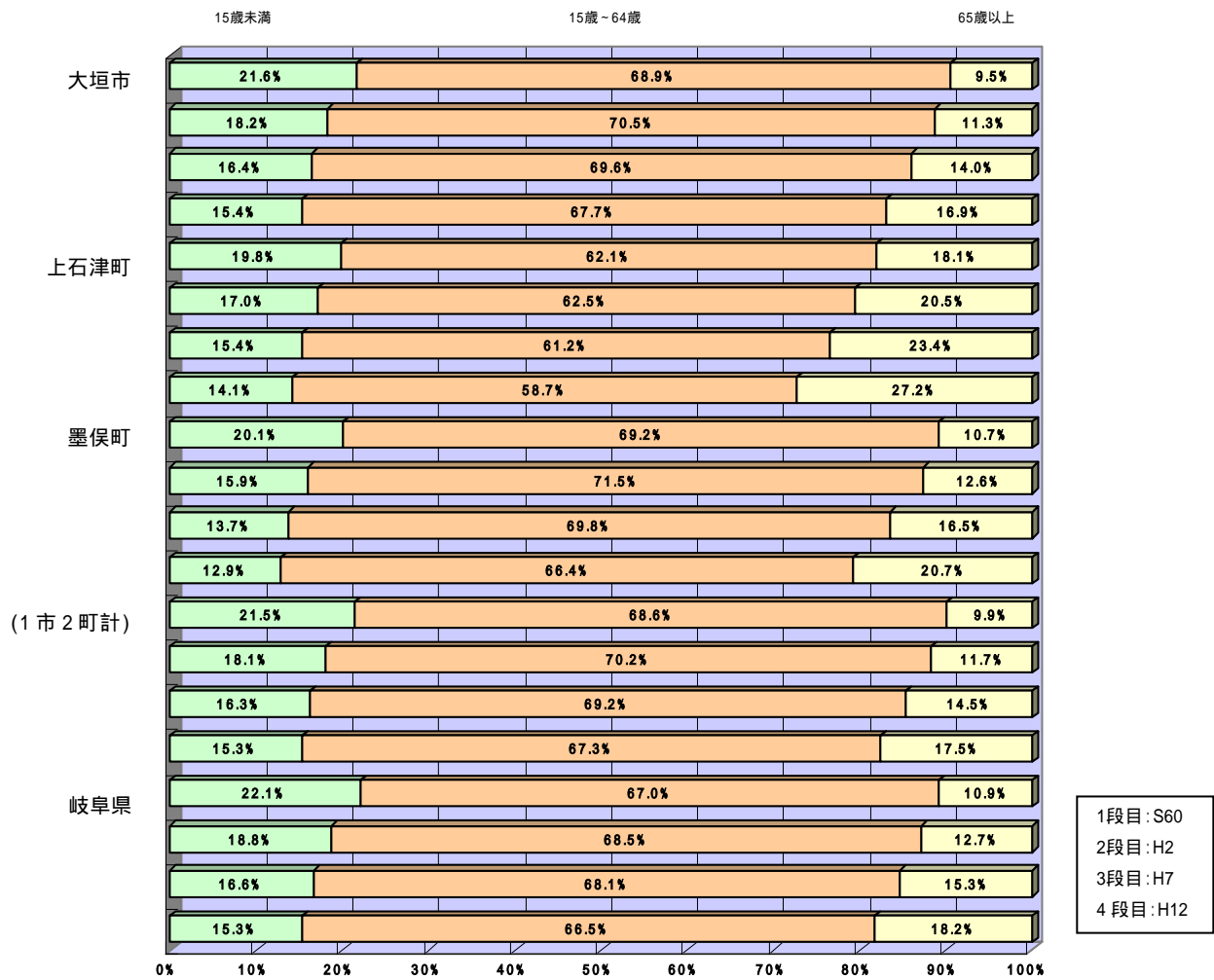


資料:国勢調査

図 1 市 2 町の人口の伸び率比較

【年齢別人口】

- ・平成 12 年の 1 市 2 町全体の年少 (15 歳未満)・生産 (15~64 歳)・老年 (65 歳以上) 人口の割合をみると、年少人口割合 15.3%、生産人口割合 67.2%、老年人口割合 17.5%で県全体の各人口割合とほぼ同じとなっています。また、経年変化をみると少子高齢化が年々進行していることが確認できます。
- ・市町別では、少子化が著しいのは上石津町 (14.1%)、墨俣町 (12.9%)、また、高齢化が著しいのも上石津町 (27.2%)、墨俣町 (20.7%) となっており、人口の伸び率が下降している 2 町の少子高齢化の進行が早くなっています。



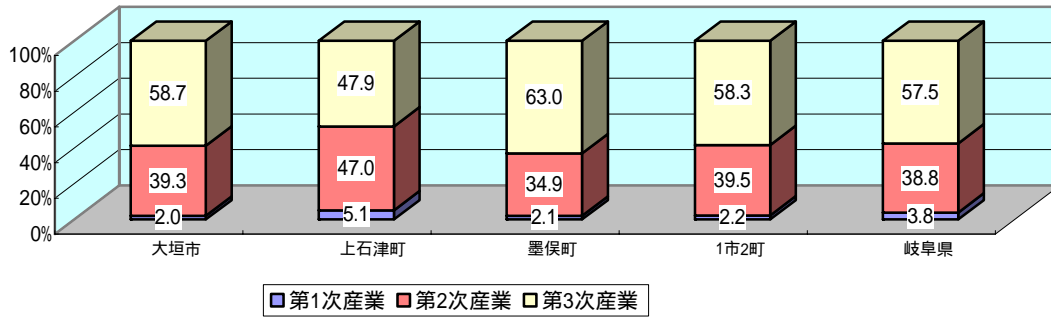
資料：国勢調査

図 1 市 2 町の年齢階層別構成推移

産業

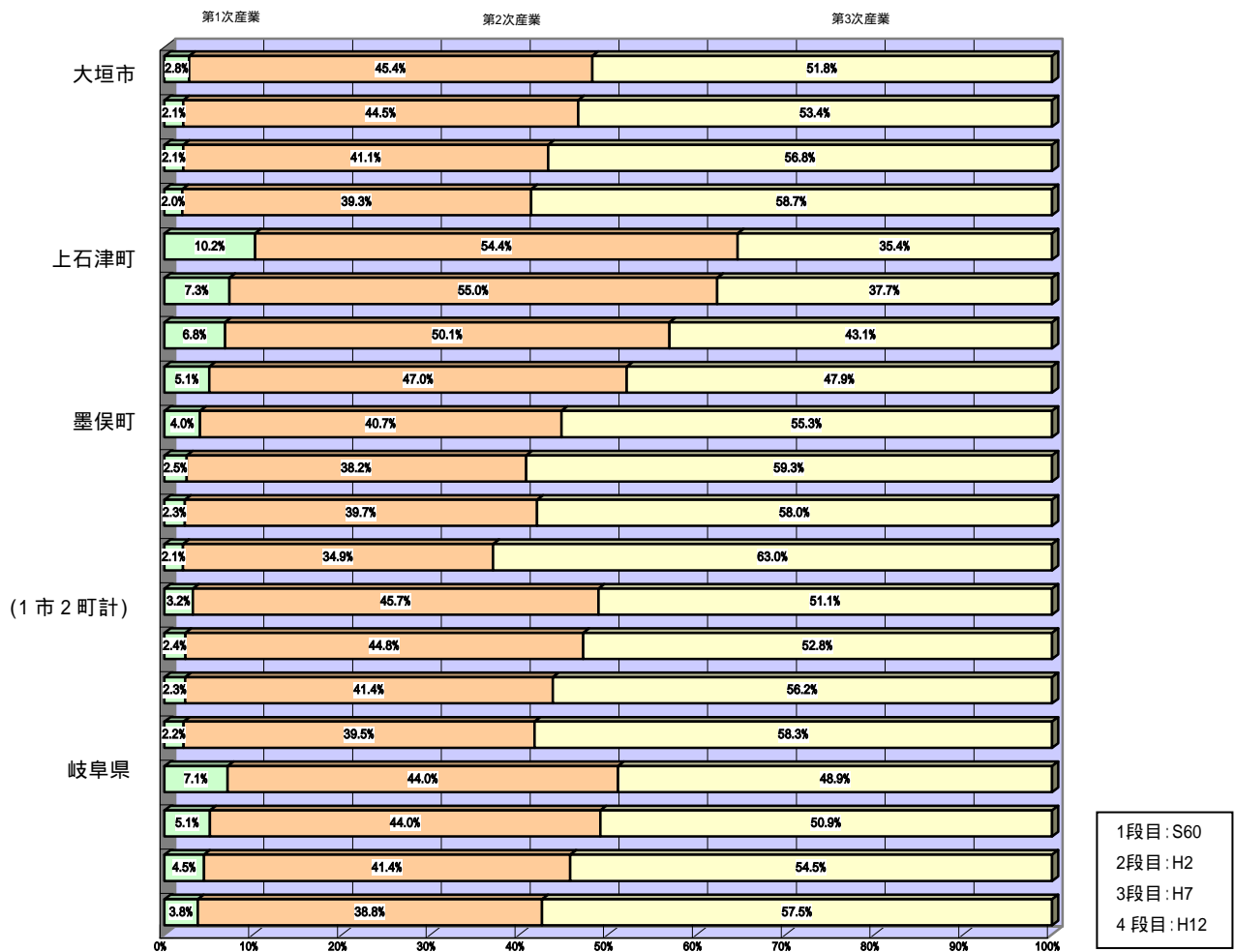
産業構造

- ・平成 12 年の 1 市 2 町全体の就業者数は約 8 万人で、県全体の約 7.6%を占めています。
- ・産業別就業人口の対県シェアは第 1 次産業約 4.3%、第 2 次産業約 7.7%、第 3 次産業約 7.7%であり、第 2 次産業の占める割合が他の産業と比較して高くなっています。また、経年変化をみると第 1 次産業の就業人口は、平成 2 年当時から県全体に比べ低く、第 2 次産業は高くなっています。その後もこの傾向は持続しており、県の工業の中心的地域であるといえます。
- ・市町別では、どの市町も第 3 次化の傾向が強くなってきています。



資料:平成12年国勢調査

図 1 市 2 町の産業別就業構成



資料:国勢調査

図 1 市 2 町の産業別就業人口構成推移

商業

【商店数】

- ・平成 11 年の 1 市 2 町全体の商店数は約 3 千店で、県全体の約 8%を占めています。
- ・平成 3 年の商店数を 1.0 として伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 11 年において 0.92 倍であり、県全体の 0.90 倍とほぼ同じ伸び率となっています。
- ・市町別では、上石津町を除く市町で、平成 9 年を境に増加傾向に転じています。この傾向は墨俣町において著しく、平成 3 年の商店数に対する平成 9 年の伸び率及び平成 9 年の商店数に対する平成 11 年の伸び率の増減幅は、それぞれ 0.23、0.14 となっています。

平成 3 年の商店数を 1.0 とした伸び率

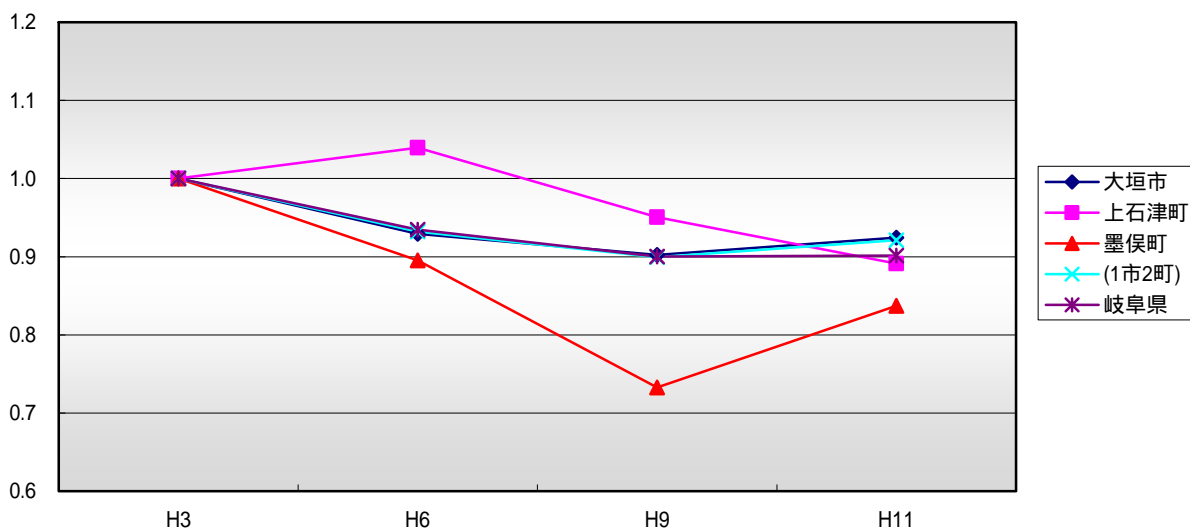


図 1 市 2 町の商店数の伸び率比較

資料：商業統計調査

表 1 市 2 町の商店数推移

単位：店

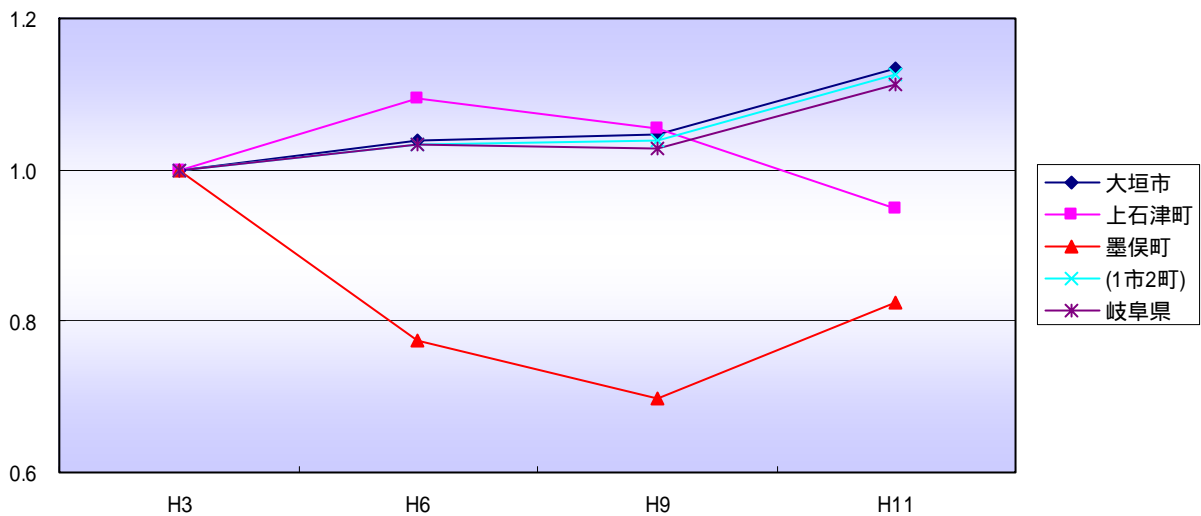
	平成 3 年	平成 6 年	平成 9 年	平成 11 年
大垣市	2,849	2,648	2,571	2,634
上石津町	101	105	96	90
墨俣町	86	77	63	72
(1 市 2 町計)	3,036	2,830	2,730	2,796
岐阜県	37,346	34,904	33,615	33,661

資料：商業統計調査

【従業者数】

- ・平成 11 年の 1 市 2 町全体の商業従業者数は約 1.7 万人で、県全体の約 8% を占めています。
- ・平成 3 年の人口を 1.0 として商業従業者数の伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 11 年において 1.13 倍であり、県全体の 1.11 倍をわずかに上回っています。経年変化は 1 市 2 町全体も県もほぼ同じ伸び率で推移しています。
- ・市町別では、上石津町 (0.95)、墨俣町 (0.83) で伸び率が低くなっています。

平成 3 年の商業従業者数を 1.0 とした伸び率



資料：商業統計調査

図 1 市 2 町の商業従業者数の伸び率比較

表 1 市 2 町の商業従業者数推移

単位：人

	平成 3 年	平成 6 年	平成 9 年	平成 11 年
大垣市	14,458	15,024	15,123	16,412
上石津町	257	281	271	244
墨俣町	338	262	236	279
(1市2町計)	15,053	15,567	15,630	16,935
岐阜県	179,844	185,928	184,750	200,100

資料：商業統計調査

【年間商品販売額】

- ・平成 11 年の 1 市 2 町全体の年間商品販売額は約 5,082 億円で、県全体の約 8.3%を占めています。
- ・平成 3 年の年間商品販売額を 1.0 として伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 11 年において 0.94 倍であり、県全体とほぼ同じ伸び率となっています。
- ・平成 11 年の 1 市 2 町全体の従業者 1 人当たり年間商品販売額は約 3 千万円で、県全体に比べて約 98%となっています。
- ・市町別では、平成 11 年の従業者 1 人当たり年間商品販売額について、大垣市が県全体の水準に近くなっているものの、上石津町では約 37%、墨俣町では約 60%となっています。

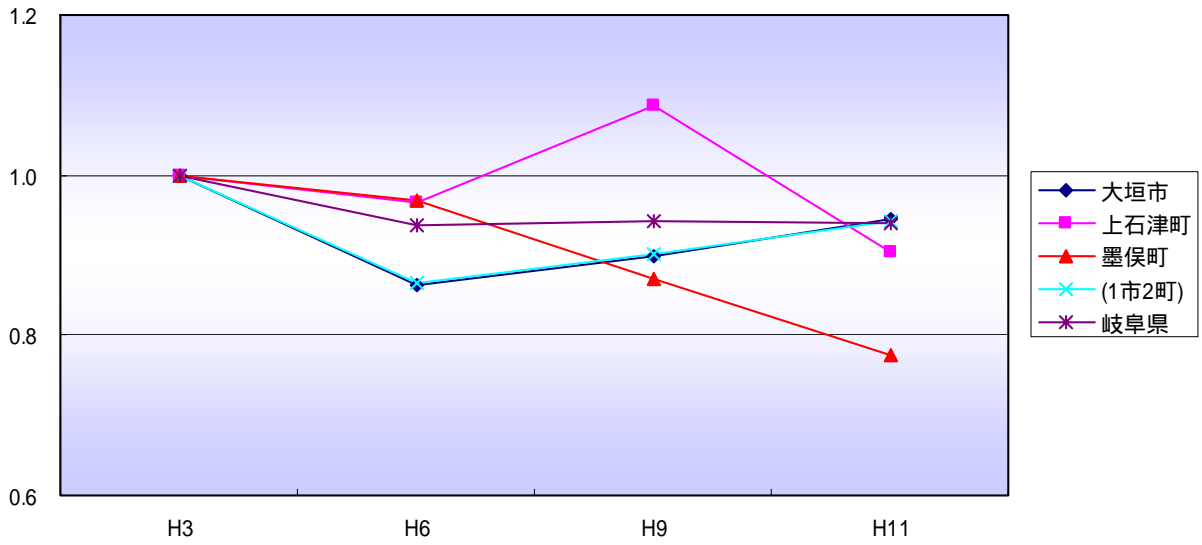
表 1 市 2 町の年間商品販売額推移

単位：百万円

	平成 3 年	平成 6 年	平成 9 年	平成 11 年
大垣市	529,810	456,871	476,732	500,437
上石津町	3,019	2,914	3,279	2,726
墨俣町	6,591	6,386	5,730	5,117
(1 市 2 町計)	539,420	466,171	485,741	508,280
岐阜県	6,515,201	6,100,767	6,143,871	6,125,140

資料：商業統計調査

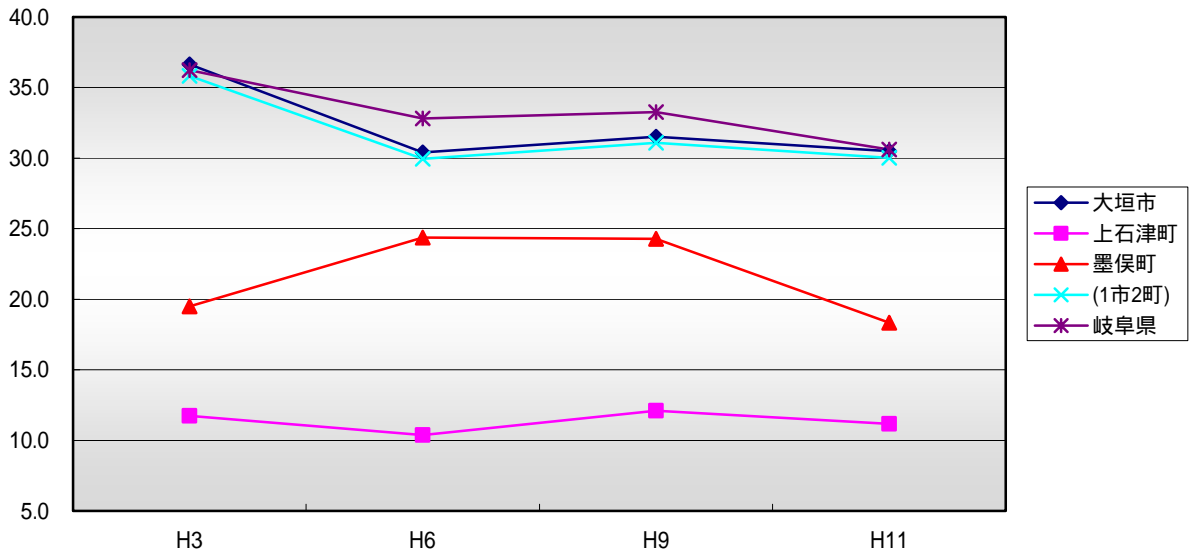
平成3年の年間商品販売額を1.0とした伸び率



資料：商業統計調査

図 1 市 2 町の年間商品販売額の伸び率比較

(百万円/年・人)



資料：商業統計調査

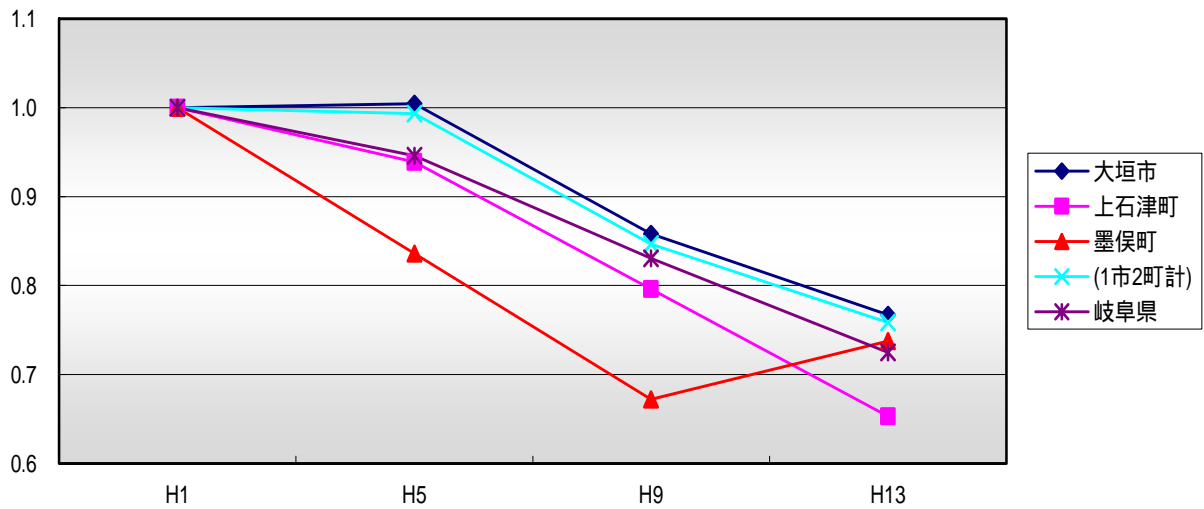
図 1 市 2 町の従業員1人当たり年間商品販売額の推移

工業

【事業所数】

- ・平成13年の1市2町全体の事業所数は約1.2千事業所で、県全体の約6%を占めています。
- ・平成元年の事業所数を1.0として伸び率をみると、1市2町全体は、平成13年において0.76倍であり、県全体の0.72倍を上回っています。経年変化をみると県全体、1市2町全体、各市町ともに事業所数の伸び率は、平成5年から平成9年度にかけて急激に減少していますが、以降、県全体が同じ水準で減少を続けているのに対し、1市2町全体及び各市町は、減少幅が縮小もしくは伸び率が増加する方向に転じています。

平成元年の工業事務所数を1.0とした伸び率



資料：工業統計調査

図 1市2町の事業所数の伸び率比較

表 1市2町の事業所数推移

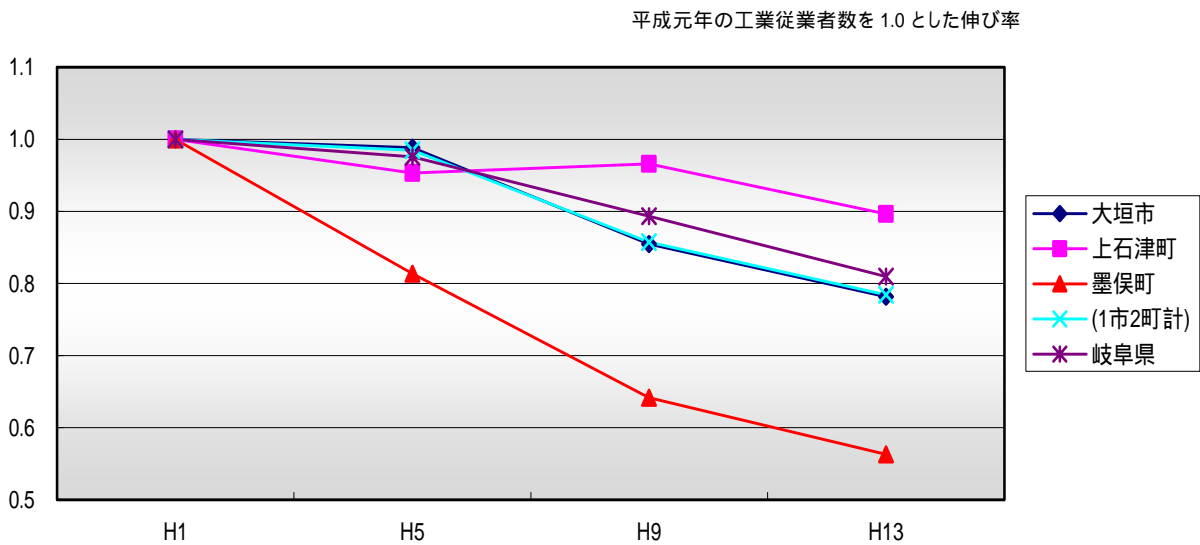
単位：事業所

	平成元年	平成5年	平成9年	平成13年
大垣市	1,361	1,367	1,168	1,044
上石津町	98	92	78	64
墨俣町	61	51	41	45
(1市2町計)	1,520	1,510	1,287	1,153
岐阜県	26,592	25,150	22,088	19,269

資料：工業統計調査

【従業者数】

- ・平成13年の1市2町全体の工業従業者数は約1.9万人で、県全体の約8.5%を占めています。
- ・平成元年の人口を1.0として工業従業者数の伸び率をみると、1市2町全体は、平成13年において0.78倍であり、県全体の0.81倍を僅かに下回っています。また、1市2町全体の経年変化をみても県全体とほぼ同じ伸び率で推移しています。
- ・市町別では、墨俣町は工業従業者数の減少幅が極めて大きく、平成13年の伸び率が0.56となっています



資料:工業統計調査

図 1 市 2 町の工業従業者数の伸び率比較

表 1 市 2 町の工業従業者数推移

単位:人

	平成元年	平成5年	平成9年	平成13年
大垣市	23,471	23,196	20,060	18,350
上石津町	1,091	1,040	1,054	978
墨俣町	279	227	179	157
(1市2町計)	24,841	24,463	21,293	19,485
岐阜県	284,264	277,348	254,028	230,104

資料:工業統計調査

【製造品出荷額等】

- ・平成 13 年の 1 市 2 町全体の製造品出荷額等は 5,094 億円で、県全体の約 10% を占めています。
- ・平成元年の製造品出荷額等を 1.0 として伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 13 年において 0.95 倍であり、県全体の 0.96 倍とほぼ同じ伸び率となっています。
- ・市町別では、上石津町の平成 13 年の製造品出荷額等が 1.47 倍となっており、経年変化をみても堅調な推移を示しています。これに対し、墨俣町では平成 13 年の伸び率が 0.34 を示しており、経年変化を見ても著しい低下傾向を示しています。
- ・工業従業者 1 人当たりの製造品出荷額等をみると、大垣市が 26.4 百万円で他町に比べ 1 人当たりの工業生産性が高いことが確認できます。これに対し、墨俣町では平成 13 年の工業従業者 1 人当たりの製造品出荷額等が 5.5 百万円となっており、1 市 2 町全体 (26.1 百万円) 県全体 (21.9 百万円) に比べ、極めて低い値を示しています。

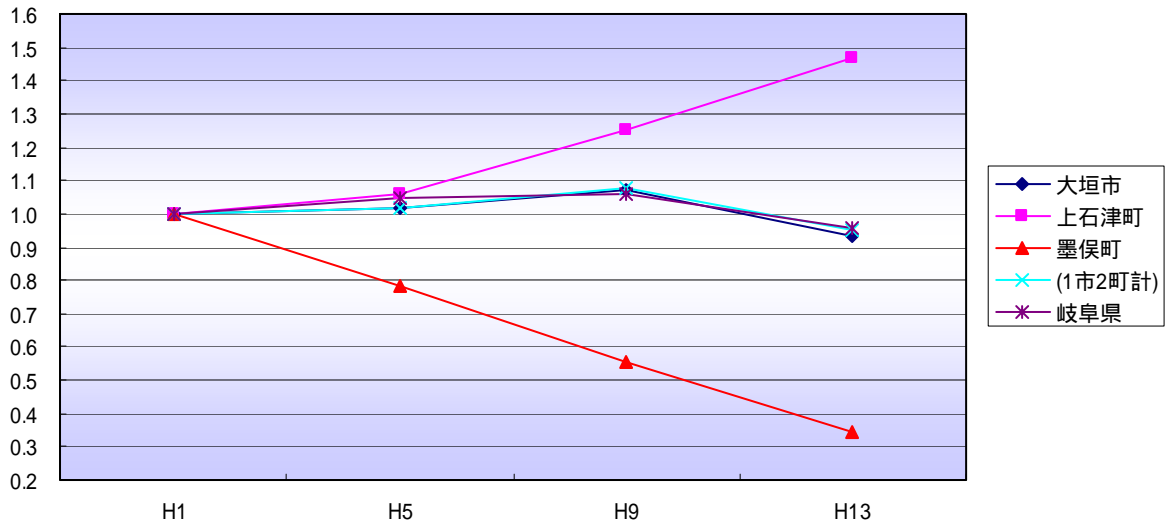
表 1 市 2 町の製造品出荷額等推移

単位：百万円

	平成元年	平成 5 年	平成 9 年	平成 13 年
大垣市	518,218	528,208	555,228	485,033
上石津町	16,084	17,077	20,135	23,578
墨俣町	2,526	1,977	1,399	869
(1 市 2 町計)	536,828	547,262	576,762	509,480
岐阜県	5,264,397	5,510,403	5,588,762	5,048,080

資料：工業統計調査

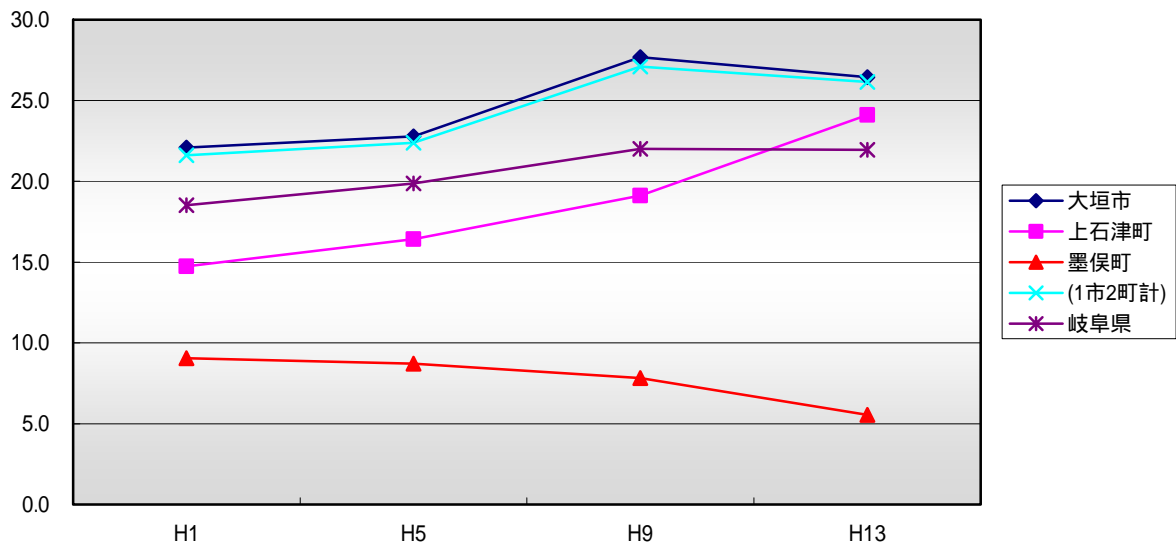
平成元年の製造品出荷額等を1.0とした伸び率



資料:工業統計調査

図 1 市 2 町の製造品出荷額等の伸び率比較

(百万円/年・人)



資料:工業統計調査

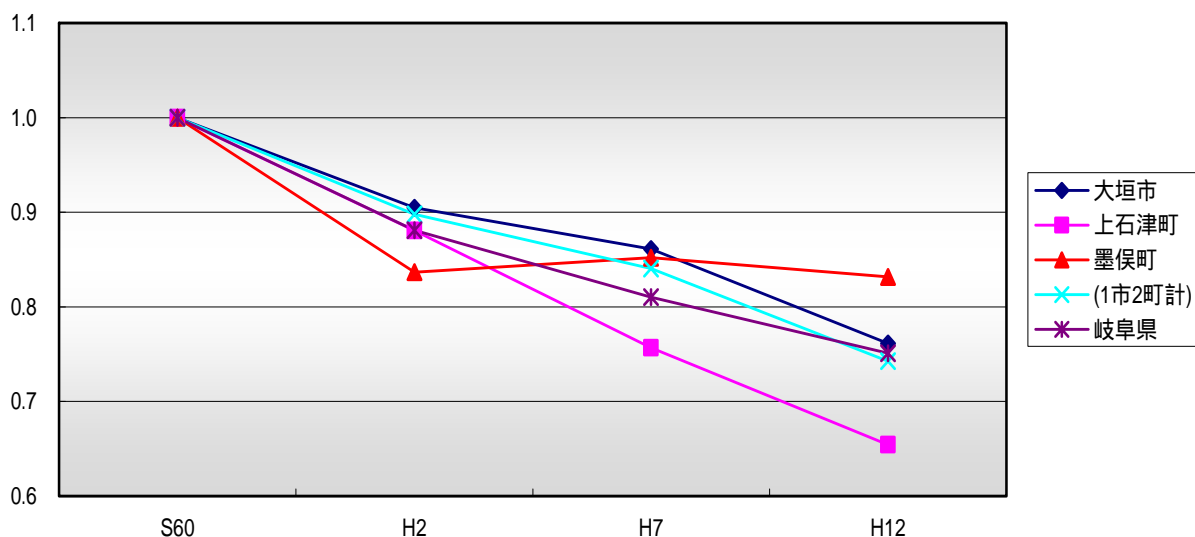
図 1 市 2 町の従業者1人当たり製造品出荷額等の推移

農業

【農家数】

- ・平成 12 年の 1 市 2 町全体の農家数は約 5 千戸で、県全体の約 5.6% を占めています。
- ・昭和 60 年の農家数を 1.0 として伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 12 年において 0.74 倍であり、県全体の 0.75 倍とほぼ同じ伸び率であり、経年変化も同じ傾向で減少し続けています。
- ・市町別では、上石津町の平成 12 年の伸び率が 0.65 となっており、他の市町に比べて低い数値を示しています。また、墨俣町では昭和 60 年から平成 2 年にかけて伸び率が急激に減少していますが、平成 2 年以降は横ばいとなっています。

昭和 60 年の農家戸数を 1.0 とした伸び率



資料: 農業センサス

図 1 市 2 町の農家数の伸び率比較

表 1 市 2 町の農家数推移

単位: 戸

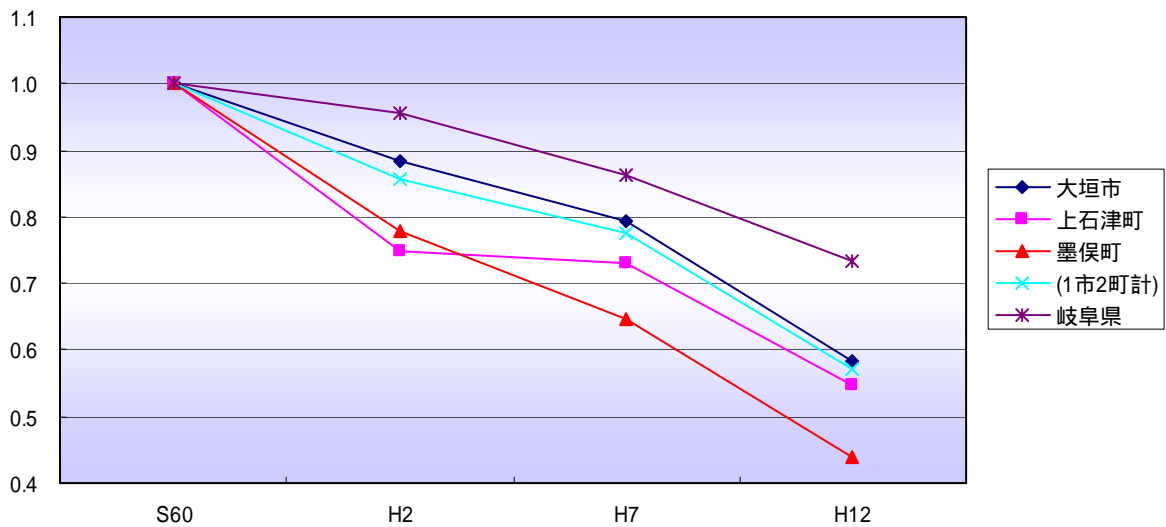
	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
大垣市	4,963	4,490	4,273	3,778
上石津町	1,246	1,097	943	815
墨俣町	196	164	167	163
(1 市 2 町計)	6,405	5,751	5,383	4,756
岐阜県	112,848	99,394	91,435	84,764

資料: 農業センサス

【農業粗生産額】

- ・平成 12 年の 1 市 2 町全体の農業粗生産額は 37 億円で、県全体の約 2.9% を占めています。
- ・昭和 60 年の農業粗生産額を 1.0 として伸び率をみると、1 市 2 町全体は、平成 12 年において 0.57 倍であり、県全体の 0.73 倍に比べて伸び率の減少幅が大きくなっています。

昭和 60 年の農業粗生産額を 1.0 とした伸び率



資料: 岐阜県農林水産統計年報

図 1 市 2 町の農業粗生産額の伸び率比較

表 1 市 2 町の農業粗生産額推移

単位: 百万円

	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年
大垣市	5,083	4,486	4,031	2,963
上石津町	1,088	816	796	595
墨俣町	268	209	173	118
(1 市 2 町計)	6,439	5,511	5,000	3,676
岐阜県	173,615	166,090	149,886	127,508

資料: 岐阜県農林水産統計年報

観光業

- ・1市2町は、古くから東山道、鎌倉街道、中山道、美濃路、伊勢街道などの街道が四通八達した交通の要衝の地であり、壬申の乱、承久の乱、関ヶ原合戦など天下分け目の戦いの舞台となり、東西文化の融合した独自の文化を形成してきました。こうしたことから、遺跡・史跡の宝庫であるとともに、永年培ってきた多彩な郷土文化が息づく歴史資産の豊富な地域です。また、水や緑などの自然資源に恵まれ、桜の名所などがあり、数多くの観光資源に恵まれた地域です。

【主な遺跡・史跡】

俳聖松尾芭蕉の「奥の細道」むすびの地
大垣城、旗本高木家陣屋跡、墨俣一夜城
数多くの縄文・弥生遺跡や古墳

【主な名勝・名所等】

水門川遊歩道「四季の路」・犀川堤 などの桜
四季の表情豊かな多良峡
緑の村公園、日本昭和音楽村

【主なまつり】

大垣まつり
もんでこかみいしづ
秀吉出世まつり

(3) 土地利用及び生活基盤

土地利用

- ・1市2町全体の総面積は20,652haで、土地利用の現状は、森林52.6%、農用地16.6%、宅地11.3%、道路5.3%の順となっています。
- ・市町別では、上石津町で森林面積の占める割合が高く、総面積の約85%が森林となっています。また、墨俣町では農用地面積の占める割合が40%を上回っています。

表 1市2町の地目別面積

単位:ha

	総面積	地目別面積					
		農用地	森林	原野	道路	住宅	その他
大垣市	7,975	2,681	389	13	859	2,132	1,901
構成比	100.0%	33.6%	4.9%	0.2%	10.8%	26.7%	23.8%
上石津町	12,338	593	10,472	86	203	242	742
構成比	100.0%	4.8%	84.9%	0.7%	1.6%	2.0%	6.0%
墨俣町	339	147	0	0	34	72	86
構成比	100.0%	43.4%	0.0%	0.0%	10.0%	21.2%	25.4%
(1市2町計)	20,652	3,421	10,861	99	1,096	2,446	2,729
構成比	100.0%	16.6%	52.6%	0.5%	5.3%	11.3%	13.2%
岐阜県	1,059,575	63,431	862,812	3,529	25,592	38,073	66,138
構成比	100.0%	6.0%	81.4%	0.3%	2.4%	3.6%	6.2%

総面積 資料:国土交通省国土地理院

農用地以下 資料:県土地対策室

生活基盤

交通施設

- ・わが国の東西軸の大動脈である名神高速道路やＪＲ東海道新幹線、ＪＲ東海道本線、国道 21 号が横断し、南北には近鉄養老線や樽見鉄道、国道 258 号などが縦断して基幹交通網を形成しています。また、東海環状自動車道等の広域高速ネットワークの整備が計画されており、岐阜地域や中濃地域、東濃地域との交流・連携の強化が期待されます。



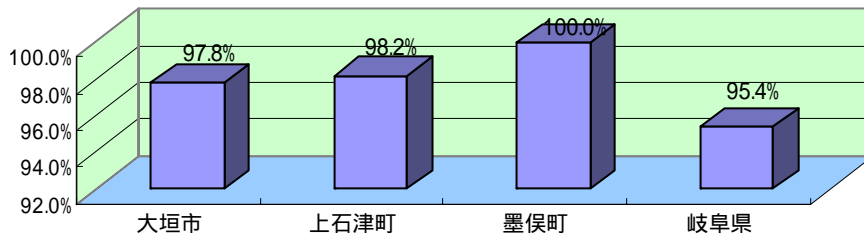
平成 13 年 10 月作成

図 主要交通網図

生活環境施設

- ・平成 14 年度の水道普及率は、1 市 2 町とも一定の整備水準に達しています。
- ・平成 14 年度の公共下水道処理人口普及率は、岐阜県の普及率（54.1%）を上回るのは大垣市（69.0%）で、墨俣町では、現在整備中です。また、農業集落排水事業及び小規模排水事業については上石津町で実施されています。

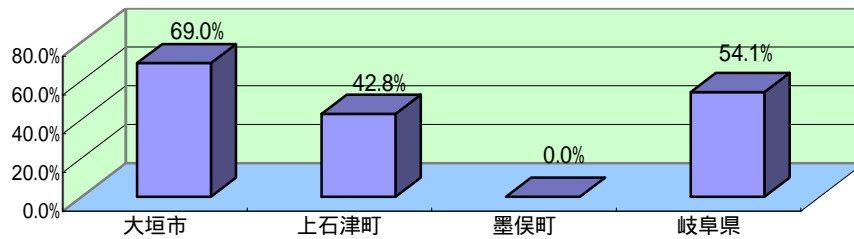
(単位：%)



資料：岐阜県基盤整備部上下水道課 (H14)

図 1 市 2 町の水道普及率

(単位：%)



資料：岐阜県基盤整備部上下水道課 (H14)

図 1 市 2 町の公共下水道処理人口普及率

表 1 市 2 町の農業集落排水事業及び小規模排水事業の整備状況

	農業集落排水事業	小規模排水事業
大垣市	整備なし	整備なし
上石津町	111 人	H15.5.10 供用開始
墨俣町	整備なし	整備なし

平成 14 年度末現在：各市町調べ

医療施設

- ・病院は、大垣市に 8 か所あります。
- ・一般診療所は、1 市 2 町内に 122 か所あります。そのうちの約 9 割は大垣市（115 か所）に集中しているのに対し、墨俣町（3 か所）、上石津町（4 か所）では、数が少なくなっています。

就園施設・学校施設

- ・1 市 2 町内には保育所が 34 か所、幼稚園が 19 か所あり、合わせて 53 か所の就園施設があります。
- ・1 市 2 町内には小学校が 22 か所、中学校が 11 か所（組合立 1 校を含む）あります。なお、1 市 2 町内には、市立または町立の高校、大学はありません。

社会教育施設・体育施設

- ・図書館は、上石津町を除き 1 か所ずつあります。また、各市町に体育館が整備されています。

ごみ処理施設

- ・1 市 2 町内には、1 か所のごみ処理施設があります。このほか、南濃清掃センターと西南濃粗大廃棄物処理センター、西濃環境保全センターの 3 か所については、他の自治体を含む組合で管理・運営されています。

高齢者福祉施設

- ・大垣市に養護老人ホーム（1 か所）、特別養護老人ホーム（1 か所）があります。また、各市町にデイ・サービスセンター等のその他の高齢者福祉施設があります。

その他の施設

- ・1 市 2 町の全てに公民館または集会所が設置されており、1 市 2 町全体で 273 か所あります。

表 1 市 2 町の公共施設の整備状況

項 目		大垣市	上石津町	墨俣町	
医療施設	病院	公・私立	8		
	一般診療所	公・私立	115	4	3
	歯科診療所	公・私立	81	2	5
就園施設	保育所	公・私立	28	5	1
	幼稚園	公・私立	19		
学校施設	小学校	市・町立	17	4	1
	中学校	市・町立	9	1	1
	高校	市・町立			
	大学	市・町立			
	短期大学	市・町立			
社会教育施設	図書館	市・町立	1		1
	博物館	市・町立			
社会体育施設	体育館	市・町立	3	1	1
	陸上競技場	市・町立	2		
	野球場	市・町立	9	1	0
	プール	市・町立	2		
ごみ処理施設		市・町立	大垣市クリーンセンター（大垣市） 南濃清掃センター（南濃衛生施設利用 事務組合/海津町、平田町、南濃町、 上石津町 他） 西濃環境保全センター（西濃環境整備 組合/大垣市、墨俣町、他） 西南濃粗大廃棄物処理センター（大垣 市、海津町、平田町、南濃町、墨俣町 他）		
高齢者福祉施設	養護老人ホーム	公・私立	1		
	特別養護老人ホーム	公・私立	3		
	その他の高齢者福祉施設	公・私立	9	2	1
その他の施設	都市公園（㎡） （人口1人当り面積）	市・町立	4.4	0.0	1.1
	公会堂・集会施設	市・町立	1		1
	公民館	市・町立	3	5	
	集会施設	市・町立	164	65	44

各市町調べ 平成 15 年 4 月 1 日現在

(4) 日常生活圏

通勤流動

- ・ 1市2町の2町は、中心地である大垣市への通勤者が14%以上となっており、大垣市との結びつきが強くなっています。
- ・ 墨俣町では、岐阜市への通勤者が18%と大垣市を上回っており、その他の岐阜県内への通勤者も16%を占めています。
- ・ 上石津町では養老町への通勤者が11%程度を占めており、大垣市について高くなっています。

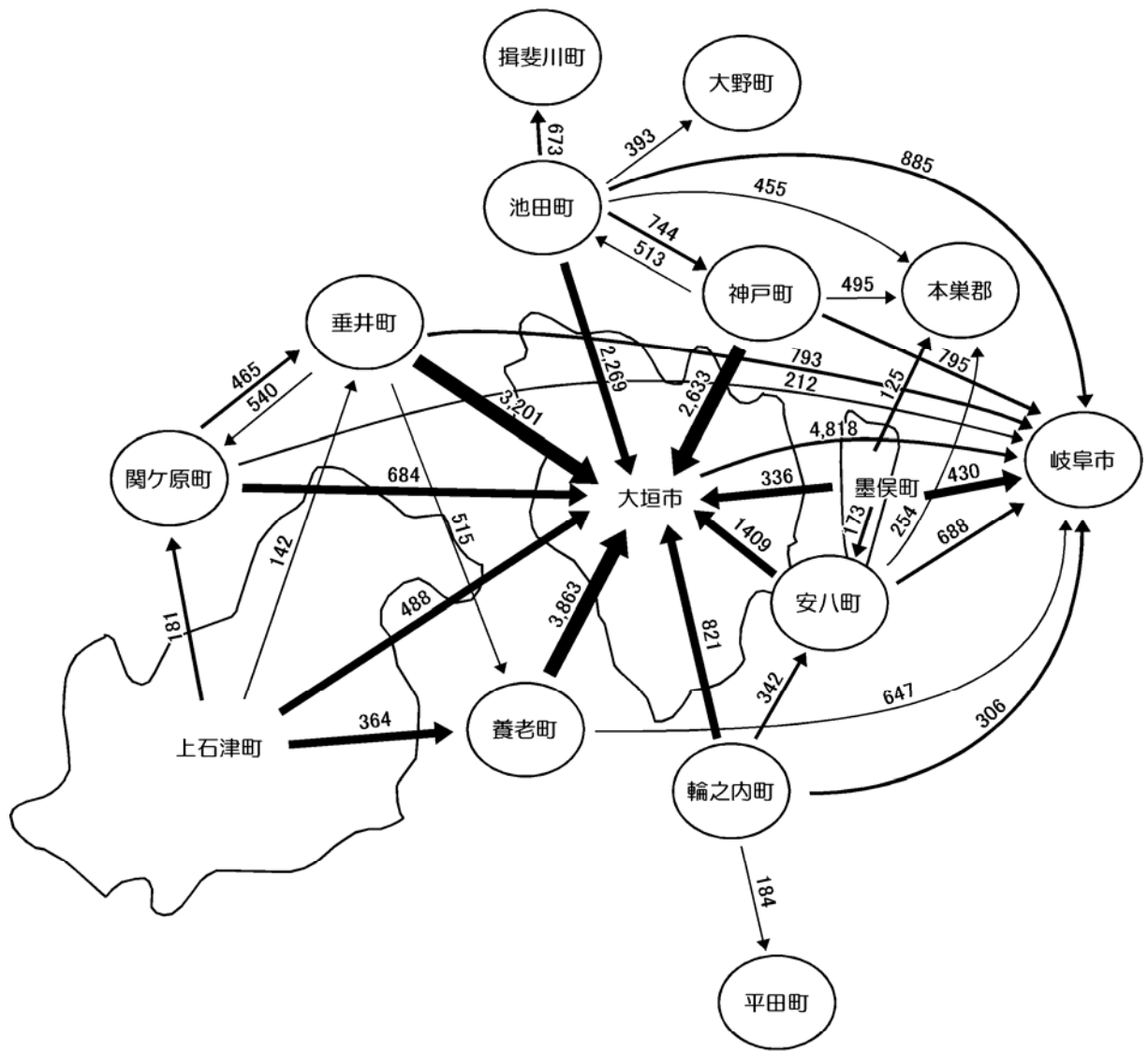
表 1 市 2 町の通勤流動 (15 歳以上)

(単位 / 上段: 人、下段: %)

通勤流動	大垣市	上石津町	墨俣町	海津郡	養老町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	揖斐郡	岐阜市	岐阜県内他	他県	就業者計
大垣市	53,824 69.7	229 0.3	101 0.1	531 0.7	1,662 2.2	1,996 2.6	373 0.5	1,200 1.6	414 0.5	1,294 1.7	755 1.0	932 1.2	4,818 6.2	3,417 4.4	5,644 7.3	77,190 100.0
上石津町	488 14.8	1,594 48.4	0 0.0	30 0.9	364 11.0	142 4.3	181 5.5	13 0.4	10 0.3	18 0.5	12 0.4	0 0.0	92 2.8	87 2.6	264 8.0	3,295 100.0
墨俣町	336 14.1	0 0.0	700 29.4	12 0.5	18 0.8	17 0.7	0 0.0	21 0.9	23 1.0	173 7.3	13 0.5	22 0.9	430 18.0	385 16.2	233 9.8	2,383 100.0
計	54,648 65.9	1,823 2.2	801 1.0	573 0.7	2,044 2.5	2,155 2.6	554 0.7	1,234 1.5	447 0.5	1,485 1.8	780 0.9	954 1.2	5,340 6.4	3,889 4.7	6,141 7.4	82,868 100.0

揖斐郡は池田町を除く

資料: 平成 12 年国勢調査



凡 例	
	3～5%未満
	5～10%未満
	10～20%未満
	20%以上



注: 常住する通勤者の3%以上を表記

資料: 平成 12 年国勢調査

図 1 市 2 町の通勤流動

通学流動

- ・1市2町は、西濃学区（高等学校）に属するため、各町とも大垣市への通学者が30～40%程度を占めています。
- ・墨俣町では、大垣市について岐阜市への通学者が多く、25%を占めています。
- ・他県への通学者は、全市町とも10%を上回っており、名古屋地域との結びつきがうかがえます。

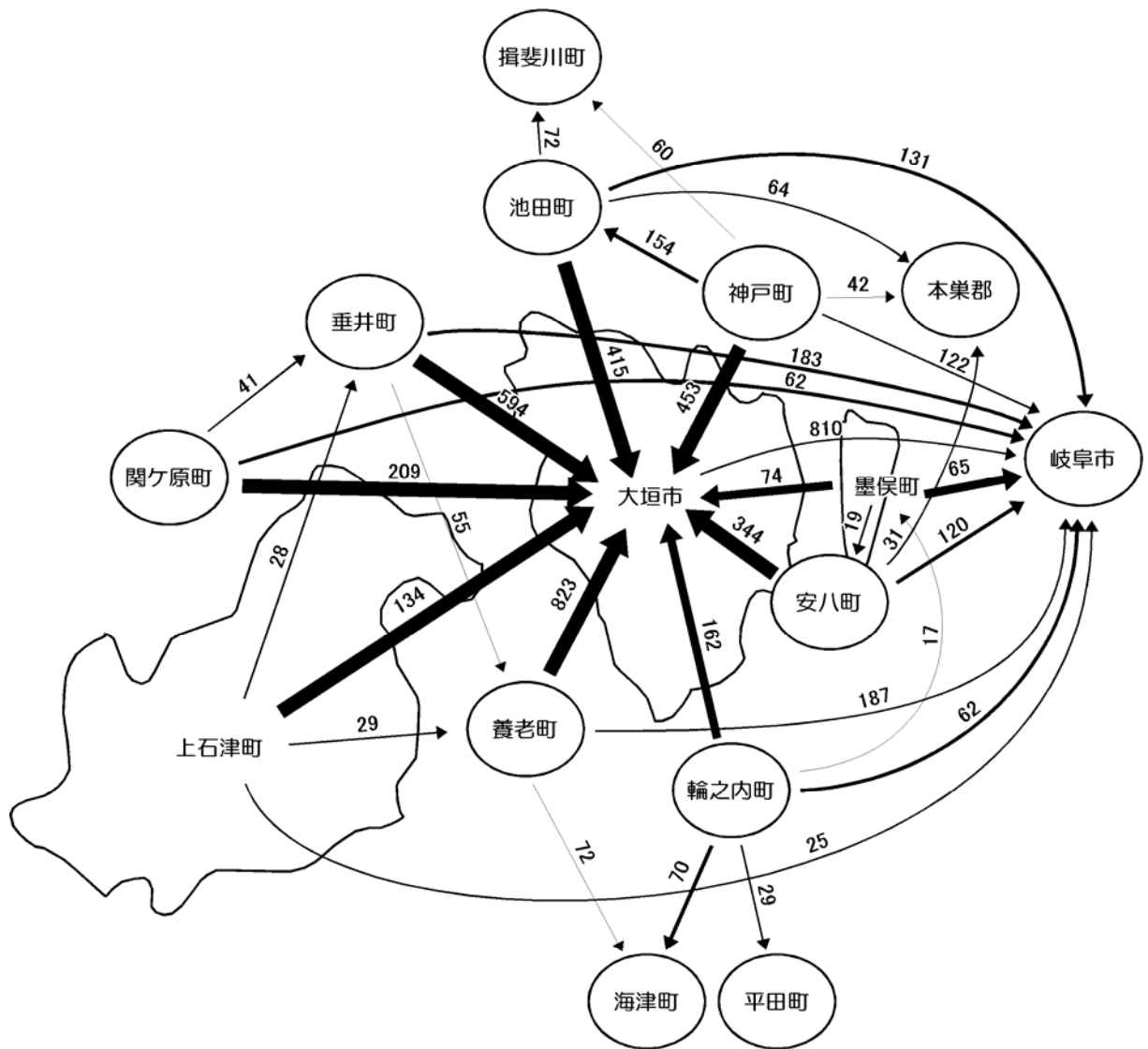
表 1市2町の通学流動（15歳以上）

（単位/上段：人、下段：％）

通学流動	大垣市	上石津町	墨俣町	海津郡	養老町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	揖斐郡	岐阜市	岐阜県内他	他県	通学者総計
大垣市	5,802 62.8	1 0.0	126 1.4	41 0.4	206 2.2	135 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 0.1	218 2.4	66 0.7	810 8.8	471 5.1	1,362 14.7	9,245 100.0
上石津町	134 39.2	46 13.5	0 0.0	1 0.3	29 8.5	28 8.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 7.3	32 9.4	47 13.7	342 100.0
墨俣町	74 29.2	0 0.0	17 6.7	2 0.8	2 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 7.5	3 1.2	0 0.0	65 25.7	29 11.5	42 16.6	253 100.0
計	6,010 61.1	47 0.5	143 1.5	44 0.4	237 2.4	163 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 0.3	221 2.2	66 0.7	900 9.1	532 5.4	1,451 14.7	9,840 100.0

揖斐郡は池田町を除く

資料：平成12年国勢調査



凡 例	
	3～5%未満
	5～10%未満
	10～20%未満
	20～30%未満
	30%以上



注: 常住する通学者の3%以上を表記

資料: 平成 12 年国勢調査

図 1 市 2 町の通学流動

買物行動

- ・1市2町の日常の買物（最寄品）をみると、大垣市では、地元での購買率が約90%を占めています。上石津町では、地元での最寄品の購買率が20%を下回っており、約40%を大垣市に依存しています。
- ・高級衣料・贈答品（買回品）については、ほとんどの町で地元での購買率が30%を下回っており、大垣市への依存度が高くなっています。特に、上石津町では、大垣市への流動が50%を上回っており、その傾向が強くなっています。
- ・他の圏域との結びつきをみると、墨俣町では、岐阜市での買回品の購買率が20%を超えています。

表 1 市 2 町の最寄品の買物先

(単位: %)

最寄品	大垣市	上石津町	墨俣町	海津郡	養老町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	揖斐郡	岐阜市	羽島市	本巣郡	その他県内	愛知県	その他県外
大垣市	92.1				0.3	1.5		0.1		0.1	0.1	0.2	3.0	0.1	0.9	0.1	0.6	0.9
上石津町	41.9	19.1			21.0	11.9	0.4									2.6	0.7	2.6
墨俣町	13.4		45.7							16.5			15.3	3.0	2.5	3.5	0.2	

揖斐郡は池田町を除く

資料:平成9年買物動向調査(岐阜県)

注)最寄品:日常の生活をするための購買頻度の高い商品。

食料品、酒類、日用雑貨、医薬品、化粧品、書籍。

表 1 市 2 町の買回品の買物先

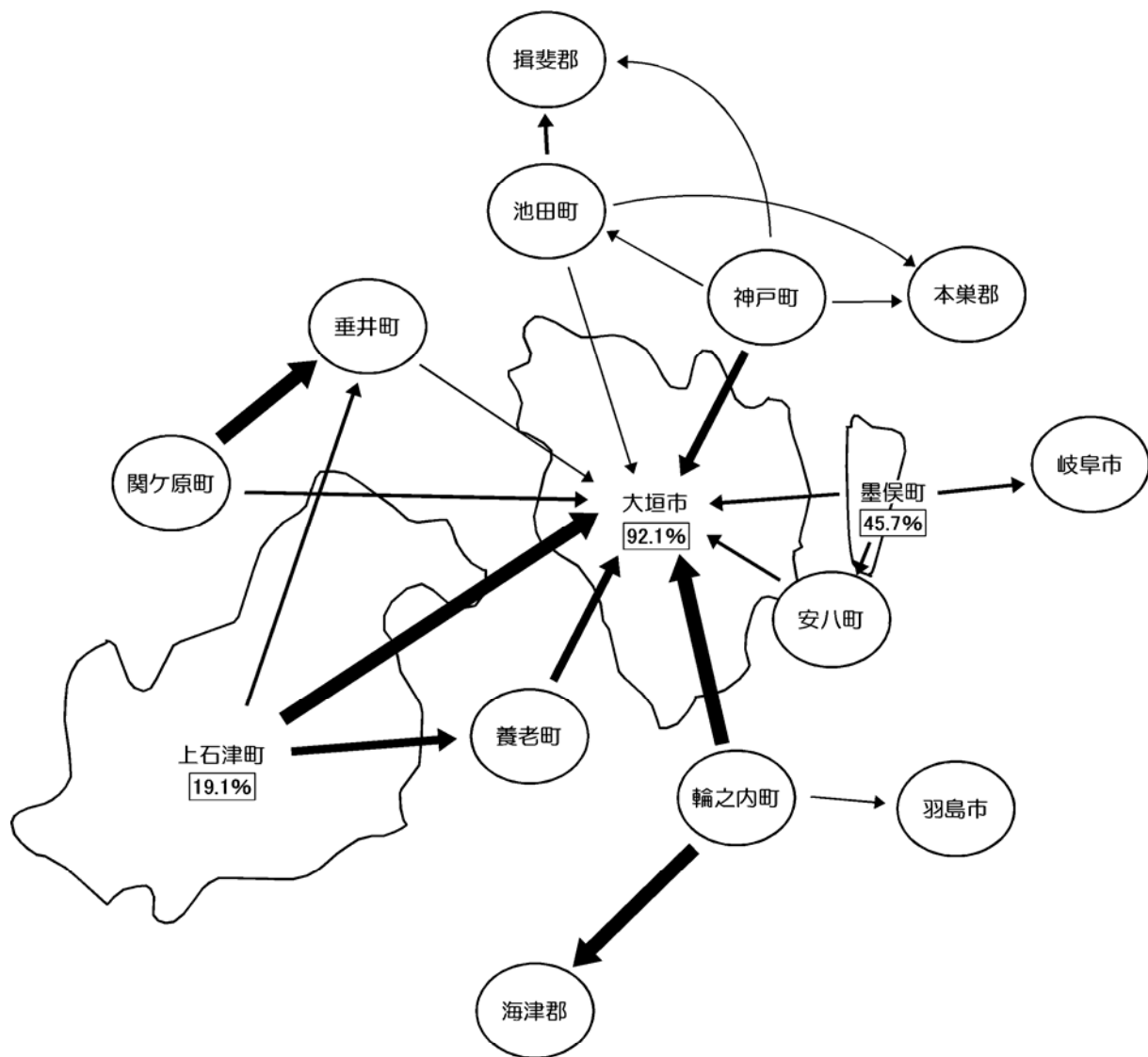
(単位: %)

買回品	大垣市	上石津町	墨俣町	海津郡	養老町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	池田町	揖斐郡	岐阜市	羽島市	本巣郡	その他県内	愛知県	その他県外
大垣市	85.9				0.2	0.9				0.1		0.2	5.6	0.4	1.5		3.1	2.1
上石津町	58.5	7.9			13.6	5.3	1.3						1.6		1.7		4.8	5.3
墨俣町	35.4		21.1							0.8			26.9	3.0	4.7	5.9	1.1	1.1

揖斐郡は池田町を除く

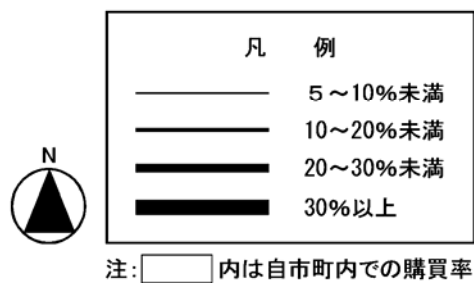
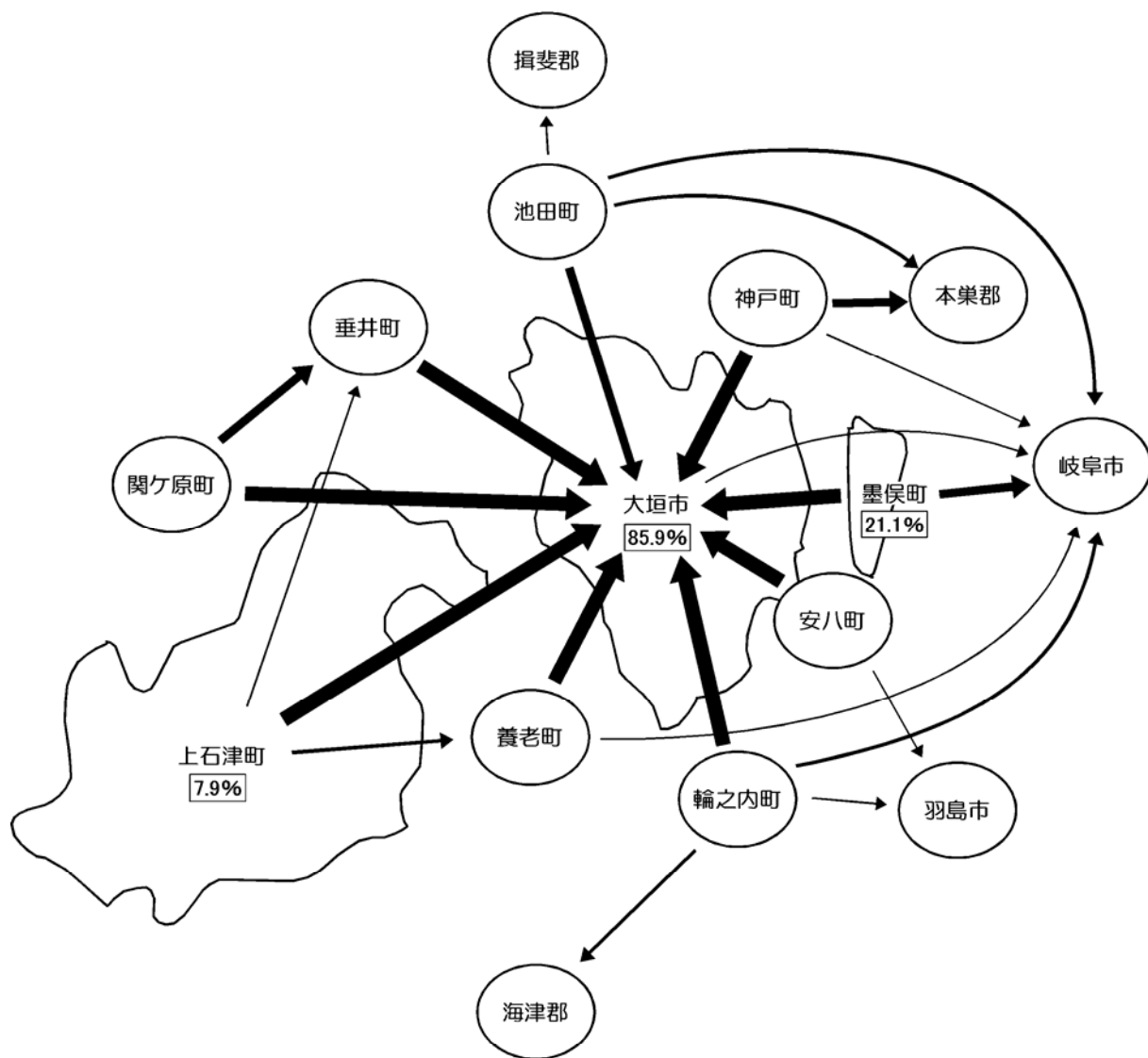
資料:平成 9 年買物動向調査(岐阜県)

注)買回品:一般に買物するときに、比較購買をするために買回る商品。品質・デザイン・価格などを比較選択して購入しようとするもの。
紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服、日用衣料、靴・かばん、メガネ・時計・カメラ、スポーツ・レジャー用品、家具、家電。



資料:平成9年買物動向調査(岐阜県)

図 1 市 2 町の最寄品の買物先流動



資料:平成 9 年買物動向調査(岐阜県)

図 1 市 2 町の買回品の買物先流動

(5) 行財政状況

- ・財政上の自立の程度を示す財政力指数をみると、大垣市が 0.881 と最も高くなっています。これに対し、墨俣町、上石津町では 0.400 を下回っています。
- ・経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断するための指標で、一般的には都市にあっては 75%、町村にあっては 70%程度が妥当とされています。しかし、近年では全国的に経常収支比率が高まっていることから、大垣市(86.1%)、2町(69.7~77.7%)の水準は、比較的財政の硬直化の度合いは低いともいえます。

表 1 市 2 町の財政状況(平成 14 年度)

平成 14 年度決算	財政力指数 (H12~H14 平均)	公債費比率 (%)	経常収支比率 (%)	標準税収入額等 (千円)	標準財政規模 (千円)
大垣市	0.881	17.9	86.1	27,311,373	29,679,253
上石津町	0.363	16.0	69.7	1,096,820	2,371,477
墨俣町	0.330	5.2	77.7	540,408	1,278,372

(6) 大規模プロジェクト

スイートバレー構想

- ・西濃圏域では、平成 8 年に県が推進するスイートバレー構想の中核拠点であるソフトピアジャパンセンターがオープンし、また、同年には国際情報科学芸術アカデミーが開校、平成 13 年には情報科学芸術大学院大学が開校しています。また、地域情報化の拠点となる大垣市情報工房の整備や、重要な情報通信網である光ファイバーの敷設が進められています。こうした基盤整備が進むなか、西濃圏域と揖斐圏域からなる西濃地域をモデルとする「21 世紀型情報都市地域整備構想」を推進するため、県と共同して国への制度創設等に取り組んでおり、産業の活性化や情報格差のない住み良い圏域づくりの実現が期待されています。

東海環状自動車道

- ・名古屋市の周辺 30~40km 圏に位置する愛知・岐阜・三重 3 県の豊田・土岐・岐阜・大垣・四日市等の諸都市を環状に連絡し、東名・名神高速道路や中央自動車道・東海北陸自動車道等と広域的なネットワークを形成する延長約 160km の高規格幹線道路です。この地域では名神高速道路への接続とともに、岐阜、東濃方面を結ぶ、新たな高速道路として期待されています。

(7) 友好都市等の提携状況

・1市2町のうち、大垣市と上石津町で国内または国外の都市と友好提携等が締結されており、人や文化などの交流が行われています。

表 1市2町の友好都市等の状況

	国内	国外
大垣市	・鹿児島県鹿児島市	・ベリア市(アメリカ合衆国 オハイオ州) ・昌原市(大韓民国 慶尚南道) ・グレンアイラ市 (オーストラリア共和国 ビクトリア州) ・邯鄲市(中華人民共和国 河北省) ・ナミュール市(ベルギー王国 ナミュール州) ・シュツットガルト市 (ドイツ連邦共和国 バーデンヴュルテンベルク州)
上石津町	・鹿児島県吹上町	-
墨俣町	-	-

2 - 2 . 関連計画の把握

1市2町の総合計画におけるまちづくりの方向性をみると、いずれの計画においても、自然環境の活用、人材育成、交流と活力、健康と長寿、協働といった視点がみられ、共通のビジョンを持っていることがわかります。また、広域計画では産業文化に関する将来像がうたわれています。

住民自らが地域の個性や特色を再認識し、行政と住民が協働した、1市2町らしさを発信していく地域づくりが求められています。

1市2町に係わる広域計画

	県政の指針(平成11年3月) 「西濃圏域の振興方向」	第四次大垣地域広域市町村圏計画 (平成13年3月) 大垣地域広域市町村圏協議会)
対象地域	西濃圏域	大垣市、養老町、上石津町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、墨俣町、海津郡3町 (1市11町)
主要課題	<p>圏域振興のための課題</p> <p>新しい情報価値の創造と、多様で個性的な魅力あるライフスタイルの創出</p> <p>激化する国際競争、地域間競争に打ち勝ち、経済活力を生み出す新しい産業おこし、既存産業の高度化・高付加価値化</p> <p>情報価値の生産を促進する創造性を育む環境づくり</p> <p>多様な自然資源や特色あるスポーツ活動の活用などにより、生涯を通じて健康で安心して暮らせる地域づくり</p> <p>地域内外の交流を促進し、地域の連携を高める交通・情報通信基盤の整備</p>	<p>課題</p> <p>新たな産業の振興、産業基盤づくりへの対応</p> <p>少子高齢社会への対応</p> <p>技術革新と高度情報社会への対応</p> <p>国際化への対応</p> <p>環境問題への対応</p> <p>地方分権への対応</p> <p>生活価値観の多様化への対応</p>
将来像	『水と緑の生涯健康・情報文化創造圏』	『水・緑・情報が調和した創造交流圏域』
基本目標	<p>当面の取り組み</p> <p>生活・産業・行政の情報化</p> <p>岐阜県版シリコンバレーの形成</p> <p>情報都市の基盤づくり</p> <p>生涯健康の里づくり</p>	<p>施策の柱</p> <p>利便性の高い圏域づくり</p> <p>元気で活力ある圏域づくり</p> <p>快適で安心な圏域づくり</p> <p>健康で心のかよう圏域づくり</p> <p>豊かな心を育む圏域づくり</p> <p>参加と協働による温かい圏域づくり</p> <p>連携と交流による圏域づくり</p>

1市2町の総合計画の整理

大垣市	
大垣市第四次総合計画 (平成13年9月策定) 目標年度:平成22年度	
将来像	「水と緑と情報～ 魅力あふれる生活文化都市」
基本的視点	1. 水と緑を生かしたまち 2. 心がふれあい助け合うまち 3. 個性・創造性・人間性を育てるまち 4. 交流のさかんなまち 5. 市民が誇りと愛着を持てるまち 6. 重点的・効率的な投資によるまち
基本目標	1. 人にやさしい機能的な都市基盤づくり 2. 新しい時代に対応した活力ある産業づくり 3. 安全で快適な生活環境づくり 4. 健康で人にやさしい福祉のまちづくり 5. 充実した生涯のための学習体制づくり 6. 心がふれあう地域づくり 7. 自立都市をめざしたまちづくり
将来目標人口	平成22年度 156,000人

	上石津町	墨俣町
	上石津町第四次総合計画 (平成14年3月策定) 目標年度:平成23年度	墨俣町第3次総合計画 (平成8年3月策定) 目標年度:平成17年度
将来像	「人と自然が調和した里山のまち 上石津」	「あふれる活力!ふれあう心! 明日を拓く歴史と文化のまち・墨俣」
基本的視点	1. ゆとりある居住地域の創造 2. 新しいコミュニティ像の創造 3. 公共交通手段の利便性向上 4. 地域間競争に勝つ魅力づくり 5. 町民と行政が「協働」で取り組む	1. 人間尊重の視点にたった人にやさしいまち 2. 自然がいきづく安全で快適なまち 3. 周辺地域と交流するにぎわいのあるまち 4. 新たな合意形成や、町民の柔軟な発想と行動力が生きるまち
基本目標	1. 新しい里山コミュニティの形成 2. 里山景観の再生と継承 3. 地球に優しい循環型社会の実現 4. 高齢化・長寿社会への対応 5. 文化資源の整備・教育の充実 6. 高度情報化への対応 7. 住民活動を支援する行政 8. 情報発信とイメージづくり	1. 水とみどりと共生する安全で快適なまちづくり 2. ふれあい豊かな健康福祉のまちづくり 3. 個性かがやく文化とひとをはぐくむまちづくり 4. 時代変化に対応した活力ある産業のまちづくり 5. 新たな時代への飛躍を支える基盤づくり 6. 町民とともにあすを拓く力強いまちづくり
将来目標人口		平成17年度 5,300人

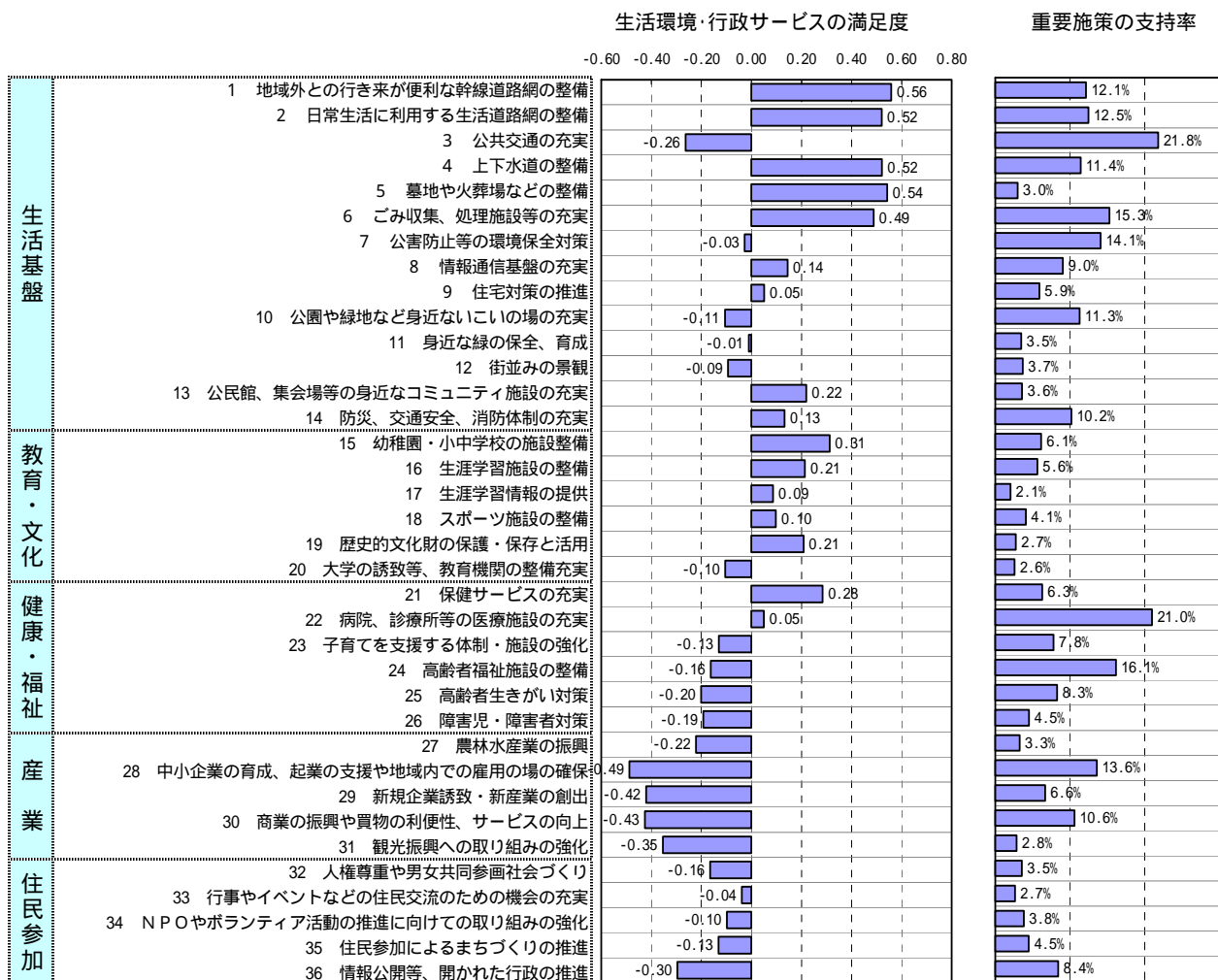
2 - 3 . 新市計画住民アンケート調査の結果

(1) 地域の現状について

生活環境・行政サービスの満足度についてみると、生活基盤に関しては、「公共交通の充実 (-0.26)」が最も満足度が低く、次いで「公園や緑地など身近ないこいの場の充実 (-0.11)」、「街並みの景観 (-0.09)」となっています。これに対し、「地域外との行き来が便利な幹線道路網の整備 (0.56)」、「墓地や火葬場などの充実 (0.54)」、「日常生活に利用する生活道路の整備 (0.52)」等については、良好な評価が得られています。また、教育・文化に関しては、「大学の誘致等、教育機関の整備充実 (-0.10)」を除き、概ね良好な評価が得られています。一方、健康・福祉、産業、住民参加に関しては、全体的に評価が低く、特に産業面での満足度が低くなっています。

まちづくりの重要施策に関する集計結果についてみると、「公共交通の充実」が21.8%で最も多く、次いで「医療施設の充実」の21.0%、「高齢者福祉施設の整備」の16.1%、「ごみ収集、処理施設の充実」の15.3%などが支持する重要施策の上位にあげられています。

n=8,226



・生活環境・行政サービスの満足度及びまちづくりの重要施策についての集計結果を市町別にみると、以下のとおりとなっています。

大垣市：他の町に比べて満足度は総じて良好であるが、産業、健康・福祉及び住民参加に係る項目では全体的に評価が低く、特に産業面でその傾向が顕著にでています。重要施策については、「公共交通の充実」及び「医療施設の充実」が20%以上となっています。

上石津町：「公共交通の充実」のほか、産業面での評価が全体的に著しく低くなっています。重要施策については、「公共交通の充実」及び「医療施設の充実」が20%以上となっています。

墨俣町：生活基盤の「公共交通の充実」、「上下水道の整備」、「公園や緑地などの充実」及び産業面での評価が著しく低くなっています。重要施策では「公共交通の充実」、「上下水道の整備」及び「医療施設の充実」が20%以上となっています。

表 生活環境・行政サービスの満足度

まちの現状

区分	評価項目	大垣市	上石津町	墨俣町	(1市2町計)
生活基盤	1 地域外との行き来が便利な幹線道路網の整備	0.60	0.12	0.16	0.56
	2 日常生活に利用する生活道路網の整備	0.55	0.18	0.25	0.52
	3 公共交通の充実	-0.21	-0.93	-0.75	-0.26
	4 上下水道の整備	0.56	0.49	-0.63	0.52
	5 墓地や火葬場などの整備	0.56	0.66	-0.02	0.54
	6 ごみ収集、処理施設等の充実	0.52	0.15	0.12	0.49
	7 公害防止等の環境保全対策	-0.02	-0.11	-0.10	-0.03
	8 情報通信基盤の充実	0.20	-0.32	-0.56	0.14
	9 住宅対策の推進	0.07	-0.11	-0.19	0.05
	10 公園や緑地など身近ないこいの場の充実	-0.10	0.08	-0.63	-0.11
	11 身近な緑の保全、育成	-0.02	0.36	-0.35	-0.01
	12 街並みの景観	-0.10	0.19	-0.37	-0.09
	13 公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実	0.19	0.50	0.64	0.22
	14 防災、交通安全、消防体制の充実	0.12	0.23	0.23	0.13
教育・文化	15 幼稚園・小中学校の施設整備	0.30	0.39	0.51	0.31
	16 生涯学習施設の整備	0.24	-0.17	0.02	0.21
	17 生涯学習情報の提供	0.10	-0.04	-0.19	0.09
	18 スポーツ施設の整備	0.10	0.33	-0.33	0.10
	19 歴史的文化財の保護・保存と活用	0.21	0.21	0.17	0.21
	20 大学の誘致等、教育機関の整備充実	-0.08	-0.40	-0.23	-0.10
健康・福祉	21 保健サービスの充実	0.27	0.39	0.46	0.28
	22 病院、診療所等の医療施設の充実	0.09	-0.42	-0.35	0.05
	23 子育てを支援する体制・施設の強化	-0.12	-0.28	-0.09	-0.13
	24 高齢者福祉施設の整備	-0.17	-0.19	0.09	-0.16
	25 高齢者生きがい対策	-0.20	-0.28	-0.06	-0.20
	26 障害児・障害者対策	-0.19	-0.30	-0.23	-0.19
産 業	27 農林水産業の振興	-0.20	-0.56	-0.27	-0.22
	28 中小企業の育成、起業の支援や地域内での雇用の場の確保	-0.46	-0.82	-0.64	-0.49
	29 新規企業誘致・新産業の創出	-0.39	-0.73	-0.77	-0.42
	30 商業の振興や買物の利便性、サービスの向上	-0.40	-0.72	-0.73	-0.43
	31 観光振興への取り組みの強化	-0.35	-0.46	-0.37	-0.35
住民参加	32 人権尊重や男女共同参画社会づくり	-0.16	-0.24	-0.22	-0.16
	33 行事やイベントなどの住民交流のための機会の充実	-0.05	0.08	0.04	-0.04
	34 NPOやボランティア活動の推進に向けての取り組みの強化	-0.09	-0.14	-0.23	-0.10
	35 住民参加によるまちづくりの推進	-0.12	-0.15	-0.29	-0.13
	36 情報公開等、開かれた行政の推進	-0.29	-0.32	-0.49	-0.30

評価ポイント **-0.6以上** **-0.3以上** **0.0未満**

表 重要施策の支持率

まちづくりの重要施策

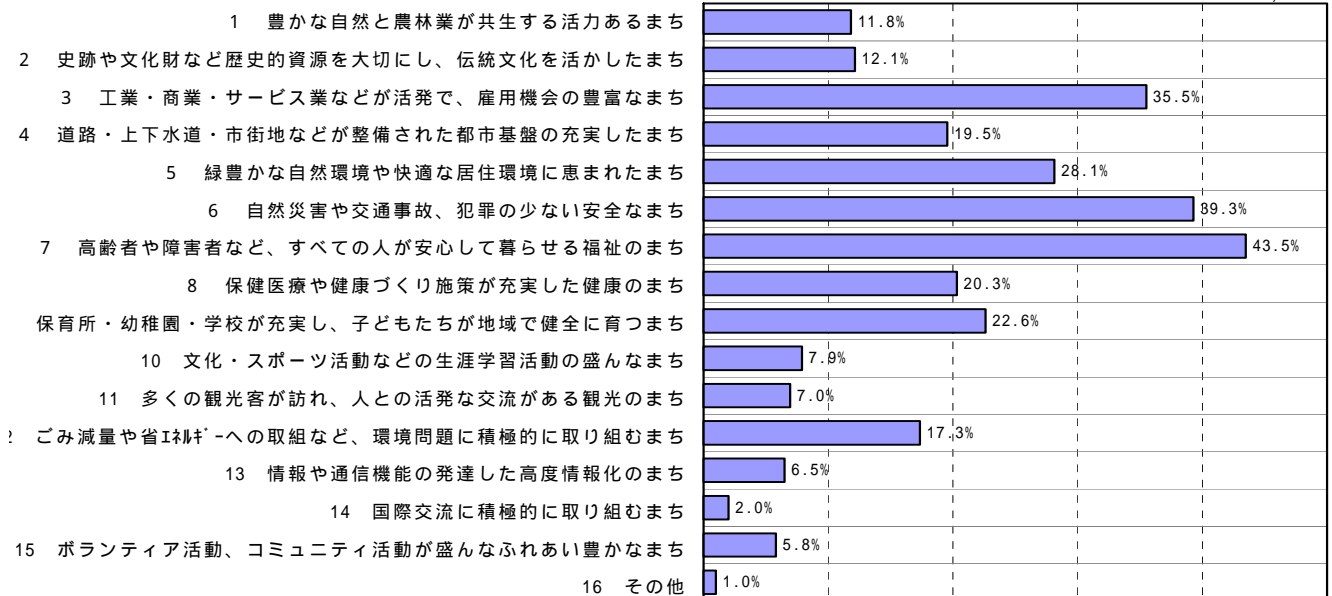
区分	評価項目	大垣市	上石津町	墨俣町	(1市2町計)
生活基盤	1 地域外との行き来が便利な幹線道路網の整備	12.0%	15.1%	12.2%	12.1%
	2 日常生活に利用する生活道路網の整備	12.5%	11.5%	13.3%	12.5%
	3 公共交通の充実	21.3%	25.7%	29.3%	21.8%
	4 上下水道の整備	11.3%	4.4%	27.8%	11.4%
	5 墓地や火葬場などの整備	2.9%	2.8%	5.6%	3.0%
	6 ごみ収集、処理施設等の充実	15.4%	14.2%	13.3%	15.3%
	7 公害防止等の環境保全対策	14.7%	8.5%	6.3%	14.1%
	8 情報通信基盤の充実	8.4%	16.5%	14.4%	9.0%
	9 住宅対策の推進	5.9%	5.7%	6.7%	5.9%
	10 公園や緑地など身近ないこいの場の充実	11.5%	3.4%	17.4%	11.3%
	11 身近な緑の保全、育成	3.5%	2.3%	4.1%	3.5%
	12 街並みの景観	3.8%	1.8%	2.2%	3.7%
	13 公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実	3.8%	1.6%	1.5%	3.6%
	14 防災、交通安全、消防体制の充実	10.5%	4.1%	10.7%	10.2%
教育・文化	15 幼稚園・小中学校の施設整備	6.2%	6.0%	3.3%	6.1%
	16 生涯学習施設の整備	5.7%	4.4%	5.6%	5.6%
	17 生涯学習情報の提供	2.1%	1.8%	1.9%	2.1%
	18 スポーツ施設の整備	4.2%	0.5%	7.8%	4.1%
	19 歴史的文化財の保護・保存と活用	2.8%	1.6%	1.9%	2.7%
	20 大学の誘致等、教育機関の整備充実	2.6%	3.7%	1.9%	2.6%
健康・福祉	21 保健サービスの充実	6.3%	5.3%	6.7%	6.3%
	22 病院、診療所等の医療施設の充実	20.8%	22.7%	22.6%	21.0%
	23 子育てを支援する体制・施設の強化	7.9%	6.9%	7.0%	7.8%
	24 高齢者福祉施設の整備	16.5%	13.5%	11.1%	16.1%
	25 高齢者生きがい対策	8.4%	6.9%	5.2%	8.3%
	26 障害児・障害者対策	4.7%	2.5%	3.7%	4.5%
産 業	27 農林水産業の振興	3.0%	7.6%	3.3%	3.3%
	28 中小企業の育成、起業の支援や地域内での雇用の場の確保	13.5%	18.1%	10.0%	13.6%
	29 新規企業誘致・新産業の創出	6.5%	8.3%	9.3%	6.6%
	30 商業の振興や買物の利便性、サービスの向上	10.8%	7.6%	10.0%	10.6%
	31 観光振興への取り組みの強化	3.0%	0.9%	2.6%	2.8%
住民参加	32 人権尊重や男女共同参画社会づくり	3.6%	3.0%	3.0%	3.5%
	33 行事やイベントなどの住民交流のための機会の充実	2.6%	2.3%	4.8%	2.7%
	34 NPOやボランティア活動の推進に向けての取り組みの強化	3.9%	3.9%	2.6%	3.8%
	35 住民参加によるまちづくりの推進	4.4%	3.9%	6.7%	4.5%
	36 情報公開等、開かれた行政の推進	8.4%	8.0%	11.1%	8.4%
その他	37 その他	0.7%	0.7%	0.4%	0.7%

重要施策の支持率 **30%以上** **20%以上** **10%以上**

(2) 地域の将来像について

- ・新市の将来像については、「福祉のまち」が43.5%で最も多く、以下、「安全なまち」の39.3%、「産業が活発で、雇用機会の豊富なまち」の35.5%、「居住環境に恵まれたまち」の28.1%、「子どもたちが地域で健全に育つまち」の22.6%、「健康のまち」の20.3%、「都市基盤の充実したまち」の19.5%が続いています。
- ・市町別では、全体的に市町ごとの差は少ないものの、上石津町では「自然と共生するまち」、墨俣町では「都市基盤の充実したまち」が20%以上となっています。

n=8,226



	大垣市	上石津町	墨俣町	(1市2町計)
1 豊かな自然と農林業が共生する活力あるまち	11.2%	26.1%	6.7%	11.8%
2 史跡や文化財など歴史的資源を大切にし、伝統文化を活かしたまち	12.3%	6.9%	15.2%	12.1%
3 工業・商業・サービス業などが活発で、雇用機会の豊富なまち	35.5%	35.6%	34.8%	35.5%
4 道路・上下水道・市街地などが整備された都市基盤の充実したまち	19.2%	17.2%	33.3%	19.5%
5 緑豊かな自然環境や快適な居住環境に恵まれたまち	28.1%	27.8%	29.6%	28.1%
6 自然災害や交通事故、犯罪の少ない安全なまち	40.1%	29.6%	32.6%	39.3%
7 高齢者や障害者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち	43.4%	46.1%	40.0%	43.5%
8 保健医療や健康づくり施策が充実した健康のまち	20.3%	21.1%	20.0%	20.3%
9 保育所・幼稚園・学校が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち	22.1%	28.7%	27.8%	22.6%
10 文化・スポーツ活動などの生涯学習活動の盛んなまち	8.1%	4.1%	7.8%	7.9%
11 多くの観光客が訪れ、人との活発な交流がある観光のまち	6.9%	6.4%	10.4%	7.0%
12 ごみ減量や省エネへの取組など、環境問題に積極的に取り組むまち	17.6%	15.1%	14.8%	17.3%
13 情報や通信機能の発達した高度情報化のまち	6.3%	8.3%	8.5%	6.5%
14 国際交流に積極的に取り組むまち	2.0%	1.8%	1.5%	2.0%
15 ボランティア活動、コミュニティ活動が盛んなふれあい豊かなまち	5.7%	6.2%	6.7%	5.8%
16 その他	1.0%	0.9%	0.7%	1.0%

40%以上 30%以上 20%以上

2 - 4 . 新市の主要課題

1市2町の現状

西に伊吹山や養老山地を望み、揖斐川、長良川、木曾川の三川と、その支流によりかん養された肥沃な濃尾平野を中心に圏域が形成される。
 総人口約16万（H12年）。人口は微増傾向にあるものの、少子高齢化が進展している。
 県下一の工業集積地域
 景気低迷や経済のグローバル化等の影響を受け、産業構造の転換による地域経済の活性化が求められている。
 下水道の未共用の町が1町ある。
 医療、高齢者福祉、教育施設の整備水準は、一定の水準に達しているものの、1市2町内で差が生じている。
 地域産業と融合した歴史・文化資源を多く有している。
 財政力に格差がある。

関連計画

県政の指針(平成11年3月)
 「水と緑の生涯健康・情報文化創造圏」

第四次大垣地域広域市町村圏計画
 「水・緑・情報が調和した創造交流圏域」

各市町の総合計画
大垣市 : 「水と緑と情報～魅力あふれる生活文化都市」
上石津町 : 「人と自然が調和した里山のまち上石津」
墨俣町 : 「あふれる活力！ふれあう心！明日を拓く歴史と文化のまち・墨俣」

大規模プロジェクト

スイートバレー構想
 (情報産業拠点の整備・創造)
東海環状自動車道
 (岐阜地域、東濃地域との連携強化)

新市計画住民ワークショップからの提言

住民の生活移動を守る都市交通の充実
 生きがいを持って働ける職場・仕事の創造
 環境創造都市「おおがき」に向けた連携
 高齢者・障害者が安心して暮らせる地域福祉の充実
 子どもの潜在能力を育み伸ばす学校教育の充実
 暮らしを支える地域のしくみと住民の役割

住民の意向(アンケート調査)

地域の現状について
 公共交通の充実
 公園や緑地など身近な憩いの場の充実
 大学の誘致等、教育機関の整備充実
 街並みの景観
 医療施設、高齢者福祉施設の整備充実
 ごみ収集、処理施設の充実

地域の将来像について
 高齢者や障害者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち
 自然災害や交通事故、犯罪の少ない安全なまち
 工業・商業・サービス業などが活発で、雇用機会の豊富なまち
 緑豊かな自然環境や快適な居住環境に恵まれたまち
 保育所・幼稚園・学校が充実し、子どもたちが地域で健全に育つまち

新市の主要課題

地域の連携を促す交通網の整備
 鉱工業・商業・農林業のバランスのとれた発展
 少子高齢化の進展に対応した社会環境の整備
 安全で快適な暮らしを支える生活環境の整備
 東海環状自動車道整備のインパクトを活用した地域整備の向上
 情報産業拠点を活かした個性化、イメージ向上
 循環型社会の形成

(1) 地域の連携を促す交通網の整備

新市では、新市内外との交流・連携と産業活動の活性化を促すため、いっそうの道路整備が必要です。

東海環状自動車道の早期整備、国道、主要地方道などの広域幹線道路の4車線化と歩道設置、地域を分断する河川の橋梁を含む地域内幹線道路の整備が必要であるとともに、JR東海道本線の大垣駅以西における一層の輸送力の強化、近鉄養老線や樽見鉄道、民営バス路線の充実を図る必要があります。

(2) 鉱工業・商業・農林業のバランスのとれた発展

産業構造の転換に合わせ、さらなる既存産業の高度化・高付加価値化を図るとともに、先端産業の誘致、情報産業の育成・支援が必要です。

商業の振興については、中心市街地の顔である中心商店街の持つ多様性と対面販売のよさ、文化性を活かして活性化を図る必要があります。

観光の振興については、自然、歴史、伝統文化、祭、特産物などの地域資源を、地域の枠を超えて有効活用することにより、圏域の魅力向上とイメージアップを図る必要があります。

また、農業では、生産基盤の整備、多品目生産・地域流通を基本とする農業の振興を図ることが課題です。また、林業では、森林の持つ多面的・公益的機能の重要性を認識し、総合的な視点から森林資源の活用を図ることが重要です。

さらに未利用材等を活用した木質系バイオマス等の新エネルギー導入を進める必要があります。

(3) 少子高齢化の進展に対応した社会環境の整備

少子化の進展により、子どもを安心して産み育てられる環境の整備が重要であり、地域社会が一体となった子育て支援策を講じる必要があります。

高齢化の進展により、保健・福祉・医療・介護サービスの充実とともに、健康維持や生きがい支援の充実を図る必要があります。また、高齢者の社会参加を促す取り組みも重要です。

(4) 安全で快適な暮らしを支える生活環境の整備

1市2町は、揖斐川・長良川をはじめとする木曾三川の西側に位置し、水との戦いの歴史を伝えてきました。また、西には養老山地をはじめとする緑豊かな山地を抱えており、集中豪雨時などには絶えず土砂災害の発生等が懸念されてきました。このため、網目状に流れる河川の治水対策や、森林保全をはじめとした治山対策は、住民の生命・財産を守るため最重要の課題です。さらに、近年では東海・東南海・南海地震の発生も懸念され、災害に強いまちづくりと防災システムづくりが必要です。

一方、宅地・道路・下水道などの基盤整備のほか、交通安全対策、防犯対策等の生活の安全確保、廃棄物対策と資源化への取り組み、誰もが使いやすい施設の

整備など、安全で快適な居住環境を確保するための総合的な対応が課題となっています。

(5) 東海環状自動車道整備のインパクトを活用した地域整備の向上

東海環状自動車道は既に東部区間で工事が進められ、産業の活性化を図る上での交通網として重要な路線であり、西部区間でも早期整備を促進する必要があります。また、大垣市に整備が予定されている大垣西 I.C 周辺地域については、開発ポテンシャルの高まりを活かし、地域発展のための整備が課題となっています。

(6) 情報産業拠点を活かした個性化、イメージ向上

岐阜県が進めるスイートバレー構想の中核拠点であるソフトピアジャパンの機能を活用して、周辺地域へのいっそうの情報産業・映像産業の集積を高めるとともに、圏域全体でその効果を楽しみ、個性化とイメージの向上を図る必要があります。

(7) 循環型社会の形成

生活様式や経済活動の多様化にともなって、ごみや産業廃棄物の排出量は増加しており、その種類も多種多様となっています。このような状況のなか、良好な生活環境や自然環境を維持していくためには、廃棄物の減量化や省エネルギー化を推進していくとともに、産業廃棄物の適正処理や新エネルギーの導入、リサイクルシステムの構築などに取り組んでいく必要があります。